

ヤングケアラーを“ひとりにしない”切れ目ない支援の充実

- 【ポイント】 ●訪問支援と配食支援の利用対象を18歳未満から22歳（大学生世代）へ拡充。
- 悩みを話せる場所や仲間と交流できる場所を提供。

令和6年12月に区が18歳から39歳までの区民を対象に実施した「若者ケアラー実態調査」では、現在ケアを行っている人が6.8%、過去に経験した人が5.1%でした。誰にも相談できず、進路や就職にも影響が出ている人がいることも分かっています。ヤングケアラーの孤立化を防ぐため、これまでの支援をさらに充実させ、切れ目なくサポートしていきます。

1 訪問支援と配食支援の対象年齢を拡充【令和8年4月開始】

日常的に家族のケアを担う若者ケアラーの負担を軽減するため、配食支援・訪問支援事業の対象を18歳未満から22歳（大学生世代）まで拡充します。

- 訪問支援 ・支援内容 食事の準備、住居の掃除や家事、洗濯など
・回数 1日1回（3時間）、週3回まで
- 配食支援 ・支援内容 1日1回、夕食（弁当）を配達 ※同居家族も利用可
・利用日 月～日曜

2 新たな相談支援事業の実施【令和8年8月開始予定】

家族のケアをする子ども・若者とヤングケアラーや支援したい人を対象に、悩みを話せる場所や仲間と交流できる場所を増やします。

- オンラインサロン … ケアしている人、支援したい人がオンライン上で集う交流会。進学、就職、人間関係、家族への思いなどを自由に共有できる場を創出します。
- ピアサポート … 悩みや不安を仲間同士で共有する機会を設け、孤立防止や精神的不安軽減につなげます。専門職員が進路やキャリアの相談にも対応します。
- 休日等夜間相談 … 専門相談員や元ヤングケアラーが悩みや不安に寄り添います。

3 ヤングケアラーの早期把握・理解促進

令和7年度に明治学院大学の学生と作成した、年齢別（小学校1～3年生版、小学校4～6年生版、中高生版、保護者版）のヤングケアラーハンドブックを活用し、理解・気づき・支援につなげます。

昨年度は区立小学校にて、ハンドブックを用いたヤングケアラー理解促進に関する出前授業を実施しました。



【問合せ先】

子ども家庭支援センター 所長 電話：03-5962-7204



つながる港、つなげる未来

港区は令和9年3月15日に
区政80周年を迎えます